

講習会

工学系の論文の探し方入門

e-learning 「おまけ」



- 1 Google Scholar図書館
リンク設定
- 2 生成AIについて



1-1. Google Scholar図書館リンク設定①



- Google Scholar トップページ画面左上にある三本線のアイコンをクリックしてメニューを開き、「設定」をクリック。

1-2. Google Scholar図書館リンク設定②

Google Scholar ログイン

設定

検索結果

言語

図書館リンク

アカウント

ブラウザの拡張機能

図書館アクセスリンクを指定 (最大 5 つ) :

大阪大学

例: 東京大学

- Webcat Plus図書情報ナビゲータ - Webcat Plus一致検索
- Osaka Dental University / 大阪歯科大学 - Full-Text@大阪歯科大学図書館
- 大阪公立大学 - Find it本文@OMU
- 大阪医科薬科大学(薬学部):OMPU Library - OMPU YAKUGAKUBU*Full Text
- 大阪医科薬科大学 (本部) - OMPU Library - OMPU Honbu*Full Text
- 大阪大学 - Full-Text@大阪大学/Uosaka
- 大阪大谷大学 - 大阪大谷大学SFXで探す
- 大阪教育大学 - FullText@OsakaKyoikuUniv
- 大阪経済大学 - Full-Text @ 大阪経済大学

通常、図書館へのオンライン アクセスは会員のみ制限されています。図書館のパスワードを使用してログインする、大学のコンピュータを使用する、図書館のプロキシを使用するようブラウザを設定するなどが必要になる場合があります。図書館のウェブサイトにアクセスするか、担当者にお問い合わせください。

保存 キャンセル

設定を保持するには、Cookie を有効にする必要があります

- 設定画面で「図書館リンク」をクリックし、検索画面に「大阪大学」と入れて検索する。
- 検索結果に表示される「大阪大学 - Full-Text@大阪大学/Uosaka」にチェックを入れて「保存」ボタンを押す。

以上のように設定すると、Google Scholar の検索結果画面に「Full-Text@大阪大学/Uosaka」のリンクが表示されます。

2-1. 生成AIについて

生成AIを文献検索へ導入する際の注意すべきポイント

- ハルシネーション（Hallucination、誤情報の出力）
- 網羅性の不透明さ
- 送受信したデータの取扱い

学術論文検索が得意なAIツールも複数存在するが、この問題からは今のところ逃れられない

参考： CA2079 - 動向レビュー：生成AIを用いた文献調査ツール / 矢田竣太郎

<https://current.ndl.go.jp/ca2079>